



すくすくだより



2022年3月号



今年度も残り1か月となりました。1年前を思い起こすと、ひとりひとりのお子さんの表情や行動に大きな成長を感じることでしょう。また、元気に新年度を迎えられるよう、最後のひと月を一日一日大切に過ごしましょう。

さて、3月3日は「耳の日」です。耳に関心を持ち、耳の病気のことだけでなく、健康な耳を持っていることへの感謝や耳を大切にするなど、社会的な関心を高めるために制定されたと言われています。

今回は、私たちの大切な「耳」について「役割としくみ」、「耳の聞こえチェック方法」と耳の健康のために日常的に気をつけてほしいことです。



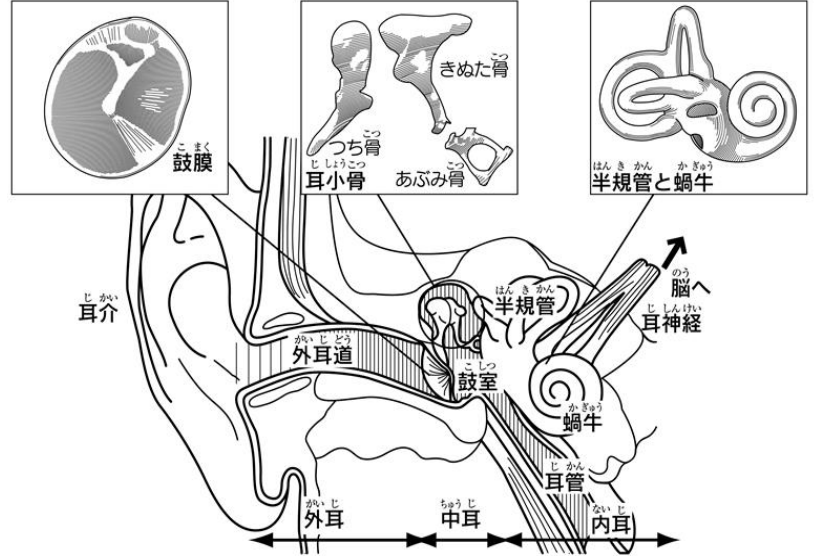
3月3日は「耳の日」です

耳の聞こえと仕組み

耳は、外耳、中耳、内耳の3つの部分で成り立っています。音は、外耳道から入り鼓膜を振るわせ、その振動が耳小骨を通して内耳に入ります。内耳は音の振動と平衡の情報をつかさどる器官であり、その中にある「蝸牛神経」が脳に音の信号を伝え、私たちは音を認識しています。耳は、大きくふたつの動きをしています。

- ①「聴覚＝音を聞く」
- ②「平衡感覚＝バランスを保つ」

ふたつの耳があるのは、聞こえてくる音の方向を知るためです。音が聞こえてくるほんのわずかの差を感じて、音がどこでしたのかを感じ取ります。また、耳の奥にある内耳で、体の傾きや回転を感じとり、その情報を脳へ伝えます。



子どもの「聞こえ」チェック！

「聞こえてる？」と心配になったら、確認してみましょう。

- 大きな音に驚いたり、目を覚ましたりするか
- おもちゃの音に振り向くか
- 周囲の呼びかけに振り向くか
- 音楽に合わせて踊るか
- 好きな音楽やCMソングなどに反応するか
- 声のみの指示に従うか
- 発達にそって、習得することばは増えているか
- ことばのまねっこをするか



ことばと聴力

0～4歳は、ことばを覚える重要な時期です。このとき両耳が聞こえない状態だと、ことばの習得が難しくなります。

難聴は生まれつきのことが多いのですが、中耳炎など耳の炎症から難聴になることもあります。子どもの耳の健康について、日ごろから気をつけていくようにしましょう。



耳を健康に

ちょっとした不注意が、中耳炎・外耳道炎の原因になることがあります。日ごろから気をつけるようにしましょう。

耳をつめで引っかいたり、強く引っばったりしない

鼻をかむときは、片方ずつ、静かにかむ



耳あかがたまっていないか、こまめにチェック



耳のそばで、大きな音や声を出さない

3月の健診のお知らせ

- ★4か月児健診（受付 9:00～10:15）
毎週火曜日：1, 8, 15, 29日
 - ★1歳6か月児健診（受付 12:45～14:00）
毎週水曜日：2, 9, 16, 30日
 - ★3歳児健診（受付 12:45～14:00）
毎週木曜日：3, 10, 17, 24日
- 場所：保健所・保健センター
（中野町字中原「ほいっぷ」内）
問合せ先：☎39-9160（こども保健課）

※対象者の方には、ご自宅へ健診日の1か月前に健診票を郵送します。ご案内の日時に健診を受けてください。変更する場合は、事前にご連絡ください。

豊橋市保育課 こじかこども園 病児保育室
保健だより 2022年3月1日 ☎25-0528